

# 土砂災害・浸水被害から命を守れ ～過去の災害から学ぶ～

令和2年2月15日

2019年度防災教育チャレンジプラン活動報告会

新居浜市立金栄小学校  
新居浜市消防本部高橋直樹

# 新居浜市金栄校区で発生した平成16年災害



御茶屋谷川



御茶屋谷川



金栄公民館



金栄小学校



尻無川・政枝小橋



東川・滝の宮遊歩道

# 新居浜市立金栄小学校

プラン名 土砂災害・浸水被害から命を守れ。～過去の災害から学ぶ～

所在地 愛媛県新居浜市

対象災害 台風による浸水被害・土砂災害・南海トラフ巨大地震など

グループの概要

【目的】

- 1 平成16年に新居浜市金栄校区で発生した台風災害による被害体験を次世代に継承させ、平成16年豪雨災害を風化させない。
- 2 西日本豪雨災害から学び、命を守る大切さを身に付ける。
- 3 土砂災害、浸水被害から命を守り、人的被害を防ぐ。

【特徴】

- 1 被災した教訓をもとに地域特性を知り、災害から命を守る避難行動を学ぶ。
- 2 地域の危険箇所等を防災マップなどに反映し、地域で情報共有を図る。

グループ紹介

新居浜市では、平成16年豪雨災害で甚大な人的、物的被害を受けました。西日本豪雨災害では、かろうじて大きな被害はなかったものの、愛媛県内でも特別警報が発令されるなど、被災する可能性は紙一重でありました。このことから、被災した経験を経て、金栄小学校5年生が1年間を通じて、防災教育の取組を実施し、自治会、地域見守り隊などの関係機関とまちあるきを行い、防災マップなどの作成などにも取り組んでいます。あらゆる自然災害などから被害を出さないためにも、地域の防災力の向上を図ることを目的として防災活動を行っています。



地域の災害を学ぶ



防災マップ事前学習



防災講演会



要支援者搬送体験



防災まちあるき



防災マップ作製



防災タイムライン作成

# 金栄小学校 プランの概要

- 1 豪雨災害の被災体験から得た教訓をもとに、小学生の防災力の向上を図り、命の大切さを学ぶ。
  - 2 地域の危険箇所等を防災マップなどに反映し、金栄校区タイムラインを作成し地域で情報共有を図る。
  - 3 松山地方気象台からの専門化を講師に招き、気象に関する情報を平時から避難につなげるためなど、防災への関心を持たせる。
  - 4 西日本豪雨災害などの自然災害から命を守るため、地域特性を知り、命を守る防災活動へ展開させる。
- ☆自分の命を守り、共に助け合い、生き抜くために大切なこと学ぶ。

# 金栄小学校実施プログラム

月 日	実施プログラム
令和元年9月13日	過去の災害について
令和元年9月24日	防災講演会～愛媛の台風と気象～
令和元年9月30日	防災力を高めよう
令和元年10月11日・13日	防災マップについて
令和元年10月25日・11月15日	防災タイムラインについて
令和元年10月27日	校区防災訓練
令和元年11月20日	防災まちあるき
令和元年12月4日	防災まちあるき取りまとめ
令和元年12月13日	防災マップ作成
令和2年1月10日	防災マップ作成
令和2年1月14日	防災タイムライン作成
令和2年1月17日	防災タイムライン作成
令和2年1月20日	防災タイムライン作成
令和2年1月21日	校内防災教育発表会準備
令和2年1月23日	校内防災教育発表会準備
令和2年1月24日	防災教育発表会【参観日】
令和2年2月以降	防災学習成果まとめ

1) 58 無新① 自由党幹事  
長(沖繩市議、衆④)うるま  
市、社会福祉専門学校 ※本  
名は玉城 康裕

らしか量例分...  
浸透せず、私の力不足だ」  
と敗北宣言した。

の後継であることを強言し  
て「吊い合戦」を演出。移

# 台風24号 県内大雨 新居浜375ミリ

## 浸水被害 交通に乱れ

非常に強い台風24号は30日、県内に最接近した。松山地方気象台は午後7時9分、レーダーなどによる解析雨量が1時間当たり約100ミリに達したとして新居浜市に記録的短時間大雨情報を発令。午後8時台までの24時間降水量は新居浜が375・0ミリ、西条が328・5ミリで観測史上最大を記録した。午後8時現在、

最大風速が県内で最も強かったのは松山南吉田21・5以て、久万高原町久万は13・9以て観測史上最大を観測した。(5面に関連記事)  
鹿森ダム(新居浜市)と新宮ダム(四国中央市)は流入量と同量の水を放流する異常洪水時防災操作を一時、検討した。  
愛媛新聞の取材では、西予市の県道宇和野村線が土

砂崩れで通行止めになった。1日朝までには解除の見通し。大洲市の県道串内子線は路肩崩落で通行止め。強風の影響で愛南町の農家のビニールハウス1棟と民家のベランダが倒壊。八幡浜市では倉庫が倒壊し、県道を一時ふさいだ。四国中央市や砥部町、久万高原町で計5世帯が床上・床下浸水(30日午後8時現

向き」と言及する現職の中村時広氏(58)は、9月定例県議会閉会后、正式に表明をするとみられ、2期目を終える中村県政に審判を下す選挙戦になる。  
政財界から幅広く後押し

では、出馬要請や推薦を決める会合で退席する県議が出るなど紆余(うよ)曲折があった自民党県連。今回も3月の定期大会で正式に出馬要請をする前から、県議会会派自民党から分裂し

援に回る見通しだ。9月定例県議会の代表・一般質問では、共産党以外の会派から待望論が出たが、中村氏は公約ができていないのを理由に明言は避けた。  
対する和田氏は、

9月22

取材界支寺 出馬前

台風で増水した新居浜市の東川の金栄橋付近 30日午後



新居所 5時 宅街 金栄 では かが ども 警員 号の ら、 うん 情は 35市 報す

# 防災まちあるきを通じて自分の住んでいるまちを知る

地域の危険個所、災害時に役に立つ施設などを調査するとともに平成16年豪雨災害の被災者に被災体験を聞く。



- 1 まちあるきにおいて、避難経路、避難所、災害時に有効な場所・施設、平成16年豪雨災害で被災した箇所など、実際に自分たちの目で確認することができた。
- 2 地域の住民とまちあるきを行うことにより、平時から顔の見える関係づくりを行う。
- 3 地域内の地理的な傾斜などの特性から浸水被害を想定する。

# 身をもって体験し、命を守る知識・技術を身に付ける

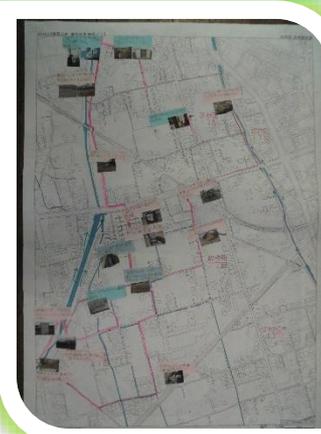
地震体験、初期消火、煙体験などの体験及び訓練を実施し、災害時に的確に対応できる知識及び技術の習得が目的。



- 1 訓練開始に伴う緊急地震速報に併せて、防災頭巾を身に付け身を守る行動を取り、地震が収まったこと確認後体育館へ移動、人員点呼を行う。地域住民及び保護者も自宅から徒歩にて、避難所となる金栄小学校へ移動する。
- 2 児童、保護者、高齢者など3世代の参加全員にて各種訓練を行い、身を守る行動の知識及び技術の習得を図る。

# 防災タイムライン・防災マップから地域へ情報共有

防災まちあるきで調査した結果を取りまとめ、防災タイムライン・防災マップを作成し、適切な避難行動などについて情報共有する。



- 1 地域まちあるきで調査した内容を防災マップに取りまとめ、危険箇所、有効な施設などについて情報共有することができた。
- 2 災害発生を想定して被災するまでの適切な行動等についてグループ討議を行い、地域の実情に応じたタイムラインを作成した。
- 3 毎年、メインテーマを変更し防災学習を実施することにより、様々な成果品を作成することができる。

## 防災学習発表内容

- 1 日本にダムがなかったら？
- 2 災害を起こす地震から身を守る工夫について調べよう。
- 3 災害から身を守るために取るべき行動は？
- 4 災害に役立つものについて調べよう。
- 5 全国の水害の規模が大きくならないようにしている工夫を調べよう。
- 6 土砂災害はどうして起こるのか。
- 7 地震がおこった時どうすれば身を守れるのか。
- 8 一人ひとりが防災のことに関心を持ち、もしもの時に素早く行動できるようにしよう！
- 9 いつでも、どこでも、災害に勝つ！
- 10 地震・水害について調べよう。
- 11 災害時に使えるものについて調べよう。

# 防災学習発表会

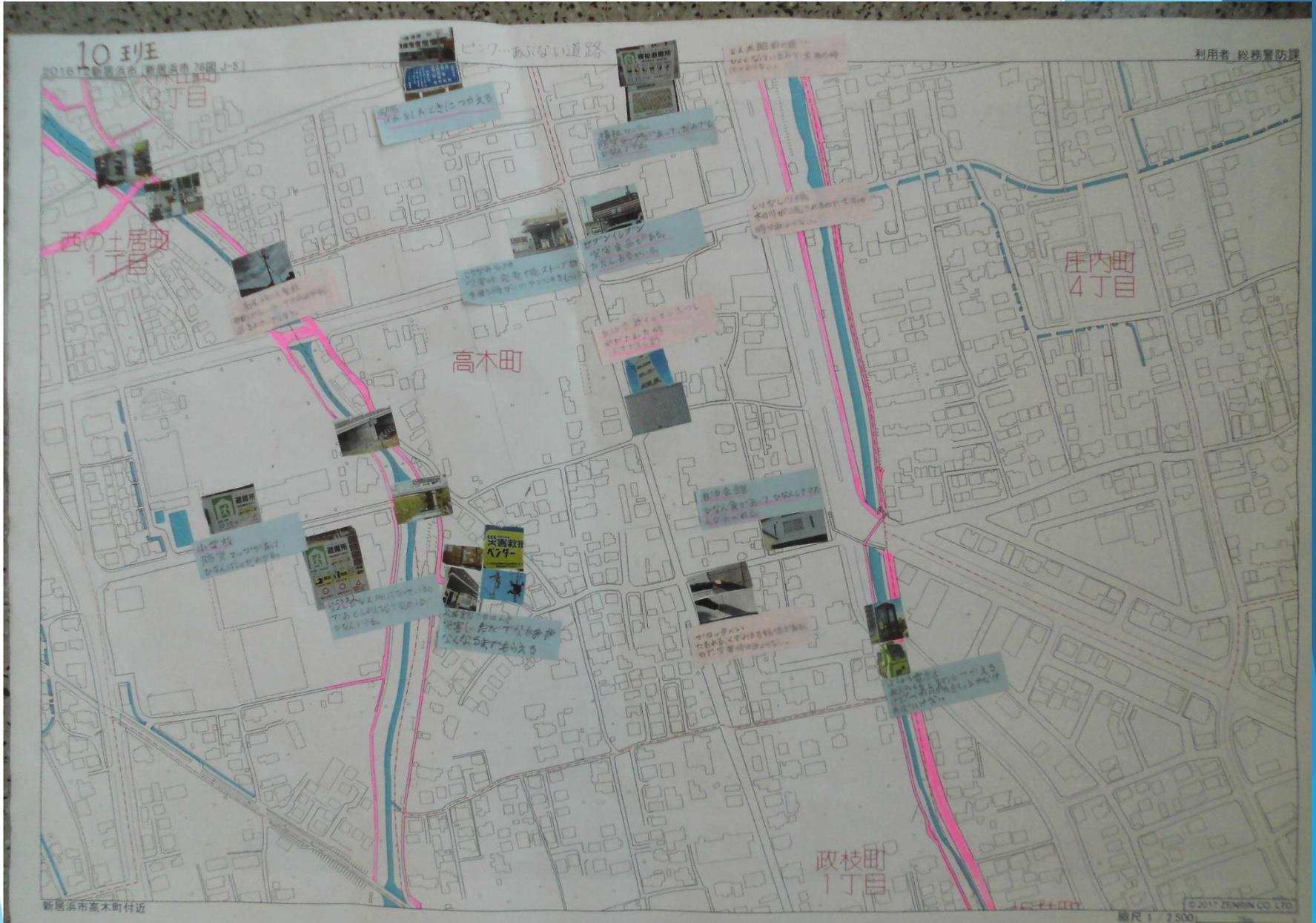
～1年間学んだ防災学習を保護者・仲間に発信～





# 防災マップ

## ～高木・庄内・久保田地区～



# 金栄小学校の防災教育取り組み成果

- 1 気象予報官から、台風発生メカニズム、時間雨量の計測方法などの講話を聞いて、降水量と土砂災害、浸水被害がリンクしていることを知り、土砂災害などから身を守る大切さを知ることができた。
- 2 まちあるきで調査した結果から、地域特性などを用いて、各グループの地域の地理的な実情に応じた金栄小学校災害タイムラインを作成した。
- 3 被災体験の教訓をもとに、自然災害から命を守る避難行動を学ぶことができた。
- 4 防災学習を通じて、地域、学校、消防が協働し、児童及び教員と住民の関わりと繋がりを深め、住民との絆づくり、日頃から顔の見える関係づくりができた。

# 今後の防災活動の展開

地域と学校などが協働し、防災訓練、まちあるきを通じた防災学習、防災マップ作りなどに取り組み、災害に強いまちづくりを目指す



防災まちあるき



ニュースエブリ取材

## 防災活動の展開

- 1 金栄小学校では、毎年5年生がテーマを変えながら防災教育を実施している。継続して防災学習に取り組み、地域全体の防災力向上を目的とする。
- 2 平成16年豪雨災害で甚大な被害を受けたことを風化させることなく、後世につなげていく。
- 3 **金栄小学校災害タイムライン**を活用し、災害発生時における身を守る行動等について検証を図り、避難率の向上を図る。

・新たなテーマに基づき、防災教育を展開させ、防災力の向上を図る。

